

2019年度

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」

(グローバル型) 合同連絡協議会資料

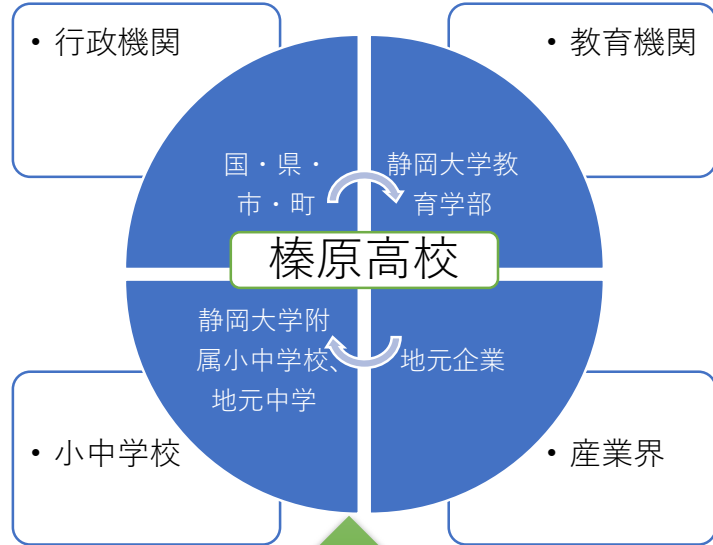
2019年6月28日(金)

静岡県教育委員会

静岡県立榛原高等学校

校長 渡邊昇司

榛原高校を支えるコンソーシアム



地域のコミュニティの危機

- ・ 少子高齢化、人口流出
- ・ 耕作放棄地、空き家問題
- ・ 地域社会のグローバル化



地域を支える若い担い手の育成は地域の願い

榛原高校の目指す教育

グローバルリーダーの育成

地域についての認識を深めた**地域リーダー**の育成
 グローバルな視野を持つ**グローバルリーダー**の育成
 これからの時代に求められるスキルの育成

H A Fプロジェクト
 HAIBARA ACHIEVING FUTURES PROJECT
 ～地域と世界を結ぶ有為な人材育成の望ましい在り方についての研究～

総合的な探究の時間の改革

文理融合型のカリキュラム開発

社会教育機関との連携

榛原高校と高校生への期待

具体的な取り組み

- ファシリテーション研修
- 課題解決・協働学習
- 大学（研究室）訪問
- フィールドワーク（企業訪問）
- 主権者教育
- レポート作成、プレゼンテーション
- ESLプログラム
- 海外研修（シンガポール、台湾、アメリカ・シアトル）

榛原高校のチャレンジ (H27～)

- 海外研修の導入
- 理数科 シンガポール研修
- 普通科 台湾研修
- 海外修学旅行の導入へ

- 文科省委託事業への参加
- 実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム

- 静岡県教育委員会事業への参加
- 魅力ある学校づくり推進事業
- アドバンススクール事業

牧之原市との連携事業

地域リーダー育成プログラム

本事業は、文部科学省委託事業（2019～2021年度）として実施します

1 報告事項

- 1 静岡県立榛原高等学校について
- 2 構想概要について
- 3 研究開発・実践、高大接続について
 - (1) 教科間の連携
 - (2) グローカルを意識した授業展開について
 - (3) 課題研究（「総合的な探究の時間」を中心として）
 - (4) 海外研修について
 - (5) 特徴的取組
- 4 課題とその解決について

2 設置学科・学級数

◎所在地

静岡県牧之原市（旧榛原郡榛原町）

◎設置課程（学科・学級数）

全日制課程（普通科・5学級／理数科・1学級 計18学級）

定時制課程（普通科・1学級 計4学級）

◎生徒数（定員）

全日制 720人（各学年普通科200人、理数科40人）

定時制 160人（各学年40人）



3 榛原高校の概要

創 設 1900年（明治33年）
120年の歴史を持つ伝統校

校 訓 「志誠真剣」

進学先（主要大学のみ）

北海道大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、東京工業大学、
横浜国立大学、金沢大学、静岡大学、名古屋大学、
名古屋工業大学、京都大学、奈良女子大学、大阪大学、
岡山大学、鹿児島大学、青山学院大学、法政大学、明治大学、
立教大学、早稲田大学 他 （過去5年間の実績）



4 構想概要（構想名、事業目的）

H A Fプロジェクト（HAIBARA ACHIEVING FUTURES PROJECT）

～地域と世界を結ぶ有為なグローバル人材を育成するためのカリキュラム開発～

事業の目的

- ・ **グローバルリーダーの育成**

地域についての確かな理解、グローバルな視野の育成

- ・ **これからの時代に求められる人材の育成**

新しい時代に求められる資質・能力を身に付け、能動的に学び続ける人材の育成

- ・ **産学官連携による持続可能な社会システムの構築**

地域と学校が一体となって生徒を育成し、地域に人材を還流させる

5 構想概要（研究開発の概要）

- ア 特色ある科目や課外活動によって、**グローバルな視野と国際感覚の醸成をはかる**
- イ **課題解決型学習**の実践により、協働的に学ぶ姿勢や批判的思考力を身に付ける
- ウ 外国語による対話力やディスカッションの力を身に付け、コミュニケーションスキルを向上させる（**言語活動の充実**）
- エ 産学官連携協力体制を構築し、フィールドワーク等を通して地域の企業研究と**働くことの意義**について学びを深める
- オ 新教育課程施行に向けての**教育課程研究**

6 構想概要（現状分析）

【地域の現状】

- ・ 少子高齢化と人口減少
- ・ 地場産業の茶業の衰退、海水浴を中心とした観光客の減少
- ・ アジアを中心とした外国人労働者の増加

【地域の強み】

- ・ 自動車産業を中心とした多様な産業の製造拠点が存在
- ・ 国際空港、高速道路網など充実した交通インフラの存在
- ・ 地域住民、行政機関、地元企業の教育に対する協力体制

7 構想概要（研究開発の仮説）

地域探究学習の推進

ファシリテーション研修
牧之原市長出前授業
企業人講話
フィールドワーク
課題解決学習・報告会

グローバル教育の推進

海外研修
海外修学旅行
外国籍生徒との交流
ESLプログラム
検定試験等の活用

産学官連携教育の推進

* 地元企業との連携強化
静岡大学教育学部と連携
静岡産業大学との連携
静岡県立大学との協力
県、市町との連携強化

グローバル
リーダーの育成

地域を支え、社会
を発展させる人材
の育成

* 地元企業は、過去に実績のある企業及び、中小企業

8 構想概要（過去の取組①）

静岡県教育委員会との連携事業

静岡県教育委員会（管理機関・コンソーシアム）との連携事業
魅力ある学校づくり推進事業、アドバンススクール事業



がんセンター訪問

理数科を中心とした、地域医療を担う人材育成事業。

科学や医療について、最先端の成果や地域の現状などを研修・体験、将来のイメージを固めていく。

大学・医療機関での研修や体験、海外研修（シンガポール）など

9 構想概要（過去の取組②） 牧之原市との連携事業

牧之原市（コンソーシアム）との連携事業 地域リーダー育成プロジェクト



学び合いの場

牧之原市を中心とした「対話によるまちづくりプログラム」による人材育成事業。

高校生と地域の大人が連携・協働。対話を通して、自己の表現する力や行動を起こす力を身に付けていく。

ファシリテーション研修、学び合いの場（年8回）、高校生地域創生サミットへの参加

10 構想概要（過去の取組③）

文部科学省委託事業

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（文科省）

リアリティのある深い学びの実現（平成28-29年度文部科学省委託事業）をめざす
企業訪問や出張講座などを通じて、実際の社会および経済の仕組みや現状について探究的な活動を行う。金融経済教室、地元企業事業所訪問、海外研修（台湾）ほか。



金融経済教室



事業所訪問



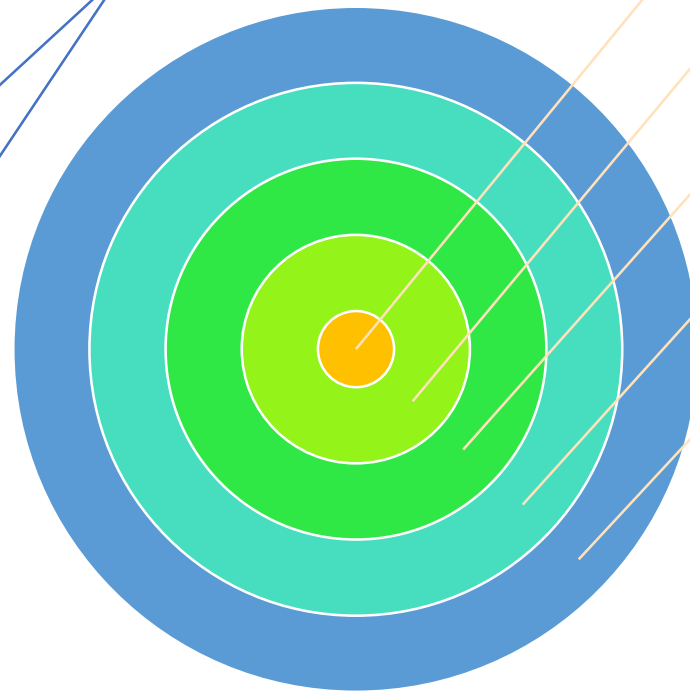
海外研修（台湾）

11 研究開発・実践、高大接続

(1) 教科間の連携

総合的な探究の時間を中心とした連携体制の確立

静岡大学教育学部、
カリキュラム開発
アドバイザーによる
支援



総合的な探究の時間

地歴・公民科

国語科

英語科

理科・数学

教科間連携に関する研究内容

- ・職員会議での情報共有
- ・分掌、委員会での協議
- ・校内推進体制（組織）整備
- ・校内研修の推進
- ・先進校との協力体制構築
- ・新しい教育課程の研究
- ・カリキュラム・マネジメントの推進

公民科（現代社会）を中心としたカリキュラム・マネジメント

11 研究開発・実践、高大接続

(2) グローカルを意識した授業展開

◎グローバル教育の推進

ESLプログラム（イングリッシュキャンプ）の実践

研修課、英語科職員による事業推進体制の構築、授業への反映

【実施計画】

日時：8月11日（日）～13日（火）

会場：本校

参加者：1・2年生希望者（48人募集）

講師：8人（チャップマン大学、カリフォルニア州立大学）

11 研究開発・実践、高大接続

(3) 課題研究（「総合的な探究の時間」）

総合的な探究の時間（1年生普通科実施計画）

目 標：地域社会の課題を発見し、協働的に課題を解決する方法を考える

活 動：**ファシリテーション研修**（5月）

牧之原市長出前授業（調整中）

企業人講話（7月）

フィールドワーク（10月）

静岡大学、ふじのくに茶の都ミュージアム

学習成果報告書の作成（12月まで）

学習成果報告会（1～3月）

HR内発表、学年発表、全体発表（牧之原市役所）

理数科については、現代社会、HR活動、課外活動による探究学習を推進し代替する

11 研究開発・実践、高大接続

(4) 海外研修

アメリカ研修（予定）

日時：8月22日（木）～27日（火）

目的地：シアトル、サンフランシスコ

訪問先：杉本製茶現地法人、小糸製作所現地法人（ボーイングエバレット工場）、在シアトル総領事館、シアトル市内研修、サンフランシスコ市内研修 その他

参加者：13人（2年生）

台湾研修（計画中）

日時：12月23日（月）～27日（金）

目的地：高雄、台北

訪問先：矢崎部品現地法人、現地茶工場、茶藝館、高雄市内研修、台北市内研修

参加者：30人（1年生）

海外修学旅行（令和2年度実施予定）

普通科 マレーシア、シンガポール 理数科 アメリカ

11 研究開発・実践、高大接続

(5) 特徴的取組（課外活動）

英語／グローバル部の新設

本年度より英語部をグローバル部に改編（部員47人）
グローバル事業の中核的生徒の育成を目的とする
定時制の外国籍生徒との交流、ESLプログラムへの参加などの取組を行う

実社会プログラム事業

主に海外研修（台湾）に参加する1年生（30人を予定）
国内事業所訪問、海外事業所訪問を実施
日経STOCKリーグへの参加などの取組を行う

地域リーダー育成プロジェクト

牧之原市の企画する事業への参加（1～3年生 30人を予定）
将来の地域社会を支える人材を育成することを目的とする

11 研究開発・実践、高大接続

(6) 高大接続

静岡大学教育学部との連携協定

静岡大学教育学部との連携協定締結（発表日時を検討中）

7月29日（月） 全校集会にて生徒への報告（本校）

10月11日（金） 大学訪問（授業見学）

職員研修へ協力

県内大学との連携協定、協力体制の整備

静岡産業大学、静岡県立大学との連携強化

静岡大学の他学部との連携強化

12 課題とその解決

【課題】

校内実施体制、組織の未整備

カリキュラム・マネジメントの必要性

「持続可能な地域づくりの担い手としての生徒の育成」 **(SDG**

s) のための教育課程の研究

【解決に向けて】

実施体制の整備及び組織改編

カリキュラム・マネジメント推進のための体制整備

SDG s を実現する教育課程及び学校設定教科科目の研究